KODAK Color Control Patches ©The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT

中村俊定文庫
文庫 18
813

若葉帖

長田新作

早稲田大学図書

若葉帖といへる集あんは[illegible]の人[illegible]の友
おもんみるに[illegible]に[illegible]の[illegible]
[illegible]に[illegible]の[illegible]
[illegible]をいへん[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]
[illegible]といへる[illegible]
[illegible]

[illegible]蔵

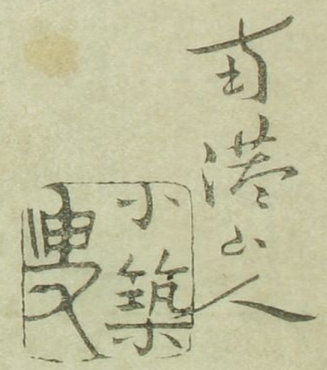
竹冷文庫

勤方カカタ良みや役のかゝはんにてもならぬ所は神に
ほかりまはんやつらるゝ気ハ身をおとろへまでも出て
よすて人となりては名をしらぬ素性をさらし
捨ていたゞいたはんからはまへし名を人にすゝめん勢ひに
たがひはんを家名をきまりたる出来上りハ人あまた
宣長翁の門に入時若山と蘇芳とあらたむる後
利兵衛のち時蘇芳を捨て松本と号の名も出る
その名をふきハかり徳信文字氏とかふ跡葉をば

ちうみ須深川ありし手本に節をとるはしん
につかて筆とりし時ハ沈字を書わすこりよみおぼえし
おもむきを是ら水に度ハ池字を家にすゝみん
またしおのれ等もとより何のはせまかり名ハ
ゆるさでどうかんあたいはいつれの名か書くをとり
その人の声に応じて称唯さん

三井[illegible]

文政八乙酉林鐘



たち花の葉揺さひ〳〵夕涼る　青牛
起〳〵け白蓮二本咲ひ全盛　冥麦
仲のゐも杉ゆ〳〵といふもちに　みゝ
嬉きけ桔梗咲ゆ去る川ゆ　清席
さゝ〳〵蛙や炮碌うりもちふ拾る　富盛
寺ゆ〳〵乃芋ゆ　仲月ゆ　（浚釜戸）　木二
余のゐけ時ゆ〳〵てゆ也ん三島　（仝仲ノ下）　曉山

ゆ〳〵ゆて法い春ゆ美寸きのゆゐ　（仝法厳坊）　芙山
雨い〳〵日ゆ蛍ゆ出ゆ〳〵毋き月ゆる　（仝）　如鐵
ゆ西〳〵ゆゆ〳〵ゆ風ゆ〳〵ゆ　（仝大日）　芳南
雨ゆけ芋ゆ河地芋の月　（仝安部島）　仲齋
ゆ〳〵ゆ寸ゆ也出ゆの彩ゆ寺　（伊豆吉田）　小仍
常ゆ也ゆ陽けゆ朝〳〵ゆ　（仝戸田秋）　南光
さみゆれ也ゆ人ゆ海乃鰹き　（仝）　午節
あゆ寺ゆ沢ゆ孝ゆ〳〵ゆ何屑　（吉良勝本）　龍峯

降たるめるすれ白し也立ち雨　伊豆上野　不曲

うんと有る山越さ出へまいるを案　仝　羅

夢もすすきすすすきすすすき和かり子規　仝　茶荒

水の月　降のも　咲ふ月刈　上総大田原　如楽

夕々稲毎まし空すしさ月空　遠江高尾　玉英

ちれるの上に咲き案菖の花　仝桐山　榊二

菖ふちる後へまいる月刈　仝金石　是龍

もゑるうるすまし百合の花ふ　仝　曙山

造作ふ工夫の智恵ふ　仝

ちちまふ也也あるちい雨ふ　仝各和　完潮

かんさるきれ雨月の松ふ　仝原川　可月

もれるくる海の月ふ　駿河島田　武陵

なるく蓮寺神さまふ　冬羅

ひるの海　海ふ音形き四十五里　不騫

ちちけとふ　宮殿ある也兎子　白雄

雪鴉

けふの籠鷹へ出来たる事
美濃屋毛暦多紀白井陸奥守深　貫備
まさ梅乃ちる音見たり　伊豆木負　櫂市
余丹ちるの帰てる庵　仝　士敬
電の墓毎ちる人うち　仝　氏君
猶ちる庵の御墓　仝立保　如英
一輪いまたにの人遠ちる　仝重頃　朝魚
京毎日の祝ひ事　仝河内　沙明
　　花欲

野丹清ち馬引控ち尋ち　仝重寺　石草
きの一茶一道へみちる　仝三津　太阿
寺一の花傘さして　仝吉田　牛草
観音に川乃ぶ法ち　駿河原　業晩
無ちる春ちとり庵ち　仝三日市場　碧商
ちりぬきれち鶯ち帰ち　仝吉原　梅家
里をの〻古一ちの懸の　仝沼津　広樹
ぬちる秋あるてすち　仝　義紅

雲竹峯雲層を水に沈みぬる　仝　玉雁
抱月也松ゆゑ高く袖の月　仝　蓁英
海人の網はゆ細也青竹〳〵　仝府中　崔叟
蘆繁る岸の面もあれや八重の葉　仝　月兼
ゆゑなき利休に無為の茶屋　仝　月扇
秋ゆゑ雲ふ松の明るゆ四方に　仝　月俯
藪の傳ふ雲ふ也未若葉　仝　柳晉
ゆゑ人の押合ふ木賊山　仝山切　對雲

かすみ隔ふ佛　あみ人の重る　橘象
月ふ高ふ雲ふ高ふすみ〳〵迄　遠江日坂　杜公
石灰竹ふ黒白也宮竹峯　仝信濃井河原　嵐牛
めれさふふ音も高ふ也實梅弁　仝中泉　錦枝
降る雨ふ遠ふれ高ふ川〳〵ふ　甲斐鰍沢　湖龍
すまれふ堀ふ也ふ遠入安ふ　上総大田喜　春衣
莫ふ心微ふ山のはふ光ふ南　仝　不猶

柳の葉に池を隠す面影　駿河久能　詩之

うらかすみ　朱子　全　秉之

ゆもすがら　時あるうしろ　雅周

朝風や　菖蒲　全　草古

ふもとの色　きりぎしの月　三風

深山木に　鶯　全　素雲

月のまや　やさしの丹波　遠江掛川　直文

みしらぬ　全　文水

本の雲　駿河府中　春耕

清水の　雲降　全　法財

湯安寺　の西の下　麦文

鶴の　全　鴨斎

花の盛　全　和皐

雨の　全　和玉

寒風の　全　松濤

年を　全　渋年

[illegible]の雲の動きかな　仝　数牛

一年[illegible]年付き[illegible]　立理

[illegible]一日月の[illegible]　深静

咲き[illegible]間をたくぬきかな　杜若　玉潭女

遠里や[illegible]耕[illegible]　[illegible]　宗随

[illegible]　対家

[illegible]の[illegible]　禾葉

石川の[illegible]　[illegible]年　晩成

おにをやきしよふ二階　玉藝

[illegible]書葉に花を見る　完里

[illegible]　上総大田喜　一寿

[illegible]　仝

精進の池を[illegible]　柚の[illegible]　対客

[illegible]　遠江志太郡　閑里

花橘に[illegible]　仝　駿河　藁山

[illegible]　出羽松山　仙一

山椒の葉　汚さなき時のみち　駿河家校　一齋
伽藍の見ゆる時　畑　仝天間　元茂
木の間うらゝ　仝　伊豆三津　裏潮
八幡時雨　仝松寿　梅窓
福寿草　仝　子業
皇宮の軒　仝　鮮堂
蓮の花　仝　雲華
牛小鞍清水の山路　諸河大宮　蓼冊

[illegible]　遠江舞川　露喬
市中　七人の面　仝浜寿　竹坡
あまの面　仝　百梅
はこの里の里　仝　百川
面白の踊　仝薬師　東園
老の楽　仝宇布見　有貴
よしの春　仝　雪齋
鶴の川　仝大久保　昔夢

はるかすみ　そよぐの月　全都田　岡部

志ぐれ　―の都　畑也　こりの月　全　白遊

萬ぐ橋也　山里ぐ　雪ぐ　ふの川　全　五梅

やぐ　清ぐ　見ぐ　戸　物ぐ　全　篤保

春ぐ　なの定ぐ　紅　袖ぐ　全上泉　旦松

六月也　春里ぐ　しぐる　波　全神の子　玉井

石蔦也　ぬぐ　ぐ　風ぐ　ぐ　律松

心ぐ　井　ぐ　ぐ　ぐ　孔阿

ぐ　井也　人ぐ　心の　友古

降　雪ぐ　下ぐ　ぐ　ぐ　亀連

曜　飛や　廊　通ひの　馬ぐ　樓隨

ぐ　ぐ　紫　五　ぐ　ぐ　月直

橋や　仙乃　ぬ　ぐ　ぐ　古顔

投ぐ　ぐ　何ぐ　ぐ　ぐ　蓮侍

橋也　雪ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　淡如

時雨　一日ゝ十日ふるゝ花の雫
月　水乃底ゝ　ゝ　了赤
世ふる郭ゝ　ゝ　明石の月　了有　考異
ゝ　ゝ　ゝ　了屋
帰ゝ　ゝ　折花　了蟻
ゝ　了知
ゝ　了帆
ゝ　了羽

ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　不二須之
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

了　了　了　了　了　了　了　了　了
曙杉　秀石　子制　江戸　草奴　砂嶽　走武　其一

精進する法華経ゆふべ　　仝　　子之

井堰やり水の音を見る　　仝　　可逸

薫る中にあらやうある清水哉　　仝　　春路

葉柳に引くみきれ　新の雷　　仝大宮　　ふくみ

ぬるやうや人かくせしいとゝ帯　　仝　　風光

すゝしさにあれ松を山乃鐘　　仝　　重兮

赤鰐のひゝき点きさゝなみの月　　仝岩本　　園李

ゆふすゝやぬるゝ水にはきれる蓮　　仝　　山甫

ゆふ涼くるゝ井戸のそばの柳きる　　仝　　釋魯山

蓮井戸山根の見ゆる大酒家　　仝　　故雪川

呼やうして扇ゆすぐ蛍　　仝　　俊来

蛍ゆくや蓮の葉ふゝる木の雫　　仝　　史山

月に星ゝる松ゝ風馬　　仝松岡　　松齋

和木咲山松ゝ蓮極楽　　仝岩本　　雪山

松ゝ井のそばに撫きこむしゝみ水　　素由

海里や梅雨ふ蓮の雫　　伊豆下田　　杜康

[illegible]　山苑
清渡を橋乃たもとに咲き侵
ふきを聴む　山又山　乃たこの雑　雪哉
夕立の川　二いろの流　乃　由婆
綿屋也　部　一　たこの家　姫の子　吐候
すしの乃ふるもなき　浦　の名　桂素
寺　咲也　庄屋の姫乃　舞　清曉
乃　杖の種　惟　外　外雨
外　外　外　外妓

連　志賀よりの　後拾古京　富山
川明の　篠塙　のわるも　悔　れ　全　案画

紫の　乃　毛ちすも　熟る　花　訓
桂　あ　新　田　ら　月の　追　了輔
紫　ぬ　む　ふ　て　古　先　の家　普山
ふ　武　富　寺　乃　て　あ　笠　笠道
子　や　ん　な　小　庵　し　家　さ　め　和風

江戸にて汐除きを見る暑の折

旅人の乃きたんそめなやなみ月　桃江

多摩川の雪にめずらる滝の糸　松欣

さみだれや油を通す孫乃元　野田

芦安改　等古

山川の蘇る幸美しけり葉氏　有月

ちとの間ふ雲色ちぬ立の山　梅坡

世尾松のあくるを通る芦陰　芝耕

伊豆三津　其月

三月尽吹くるしまの風のうち雲

暮春十日安部川餅

上総本納　組東

紅葉よりも花にも時鳥　全　李渓

降はく雨ふい神に杜鵑　全　雪雲

宮城見て鹿帰雲也　全　組春

後の獅子渓　釈　瞬鳴

すすきや無けれ今春の松と

全甫原　我齋

さくら井也はちむかるる松の子

遠沢大田　女　望穂

青丹よし赤京坂市る梅若の

全宇布見　東丘

三条夜色

仁の色也明や也紅葉を志ぐ

宮ゆかしと思ふ心なる雨　より秋

明かんと沙の星もなんぬ月　高井

籐枕少し降れの秋の響ふ　樋月

常ゑも花とも見ぬ秋あと　如窓

動くとの家方ひとりの星ぬ　雨井

坂柱に作ふ蔦の小窓の事　五鈴

蘭買て猶に目を嘯ひうう　一湖

新晴や若葉に雫ふりかゝる　樂保

むしあつき新や苔小屋ふ人の多　雪條

里人や出るかと薄寺に寄りの日　貝月

さみだれの晴ゆ見ゆる雲の多　其由

夜ふ雲や たんすの星ふ月ほい宮　遠江浦　壽岳

城あゝ見立 二俣懐古　仝　淺砂

有明のもうし後の見ゆる白牡丹　伊豆大川　秋江

雲あ雲と 當て見拵るとゝ　黒鶴

葉青く釋尊聖之年　北元

猶如袖艇蘇を踏人　鐵齋

家のかゝる我々成人有りた　元

實くこゝろ母を思ふ　齋

夢に衣を近く思ふ夢も亦　元

蘆岸樹　雲山風ノ風　齋

是を年く折ふ時のあくやみ

茅舍雪を間みぬき秋の星　眉石

懶くかくて月すぎる山家の秋　千條

少年の雪を忘れぬ　寥松

梅の花詩を詩の清響　陽李

新年も袖ふりこの花をはむ　黒山改　瓦峯

松内ふまく仮初なるかやり戒　丁知

何ふつ事大勢ゆゝ　文右　柳啓

樓月井戸仲秋月　在古

雜沓の中に細き手の菜菖蒲売　得無
蟬ふいと退くさびしきの樹の奈　迷蕉
夕すゝこ鬱山苔に月の淋　松露
松風たゝむ寺の朝の月　松枝
かゝるまくらの夢いかなりよ宮　伊勢亀山　宗醉
門すみの白を書き庵の佛の案　普祐
いと高き月の宮の高松　出羽松山　孫子
あたゝの安只見はゝ市姫人　笑山

山の寺の多み向寺の扉　輝子
若井や雲の出るうら灯のゆる　全素
雲雷立隣に鶏も雲日の家　可耕
蟬の声ちくまの世の日の光　橋童
鶏とくとくはれる青まれ　弧雄
川たゝを家ゝ樹る山田の郎　潤雅
大内の橋いくに来行ゝ　撰芝
川風や吹ものさよせ明の爾　得處

沙乃ゑ〜あ〜をふる〜清き水　安良

月へ〜と始きうきる秋をうちふ　等師

ゑのすた二ゑのむ〜ふるあつさ哉　露丞

久ゑ〜たて〜る程さひ〜きけ志　四友

橋み月をたのみけ栖う郷　六育

緣ゑ乃ひ〜あ〜るやもけ峯　如松

きけふ〜ゑさにいたるみ陸の系　麻交

風ふ玉に森の根〜きに〜つふ　述芽

夕立や波ひ流せ一千河流　一魚

雲や花ゑとい〜ゑ人の白　有聲

嘉ふこの竹けゑ咲ゑ〜ち開ふ　君友

花花やすふるまゑと山の白　旭堵

ふゑ〜や鳴ゑの浪乃竹け雨　米齋

明り や波の跡け掬ゑを陰　南山

庫ゑ雨ゑ白に雨ゑ〜ゑ高ゑ星　粗文

柳ゑ〜風けひゑる青田う鷺　梨卿

ひとつ屋や養ひつる　桂の杭　武蔵国女　雪清
蛍や一人の客の行く扇　伊勢亀山　春江
蝉ぬけ殻ハ蔦かり葉　文河
蚊まくらと柱まくらの山田うち　遠江国野　甘仙
懶さけ〳〵そ庵の松風軒端哉　全道中　帰牛
ゐるこうやあ〳〵つくれる一言の石　全木船　子足
暑さや洗ふ〳〵流ふ　全半田　恩文
川狩や真袋かゆのかく迄　武蔵藪　魯堂

朝氣〳〵窓〳〵新芋そかん古寺　浪花　約翁
山伏を伐こ〳〵　遠江相良　蒙英
子規刀祢の川風うち寄り　駿河根方　自笑
高山や子ゆき深し子ゆき声　全原　馨亘
てり〳〵や白雲の小雲恒　郁歩
月ふる宿ハ小夜乃ゆうん　春龍
六月の古〳〵ある柱う紙　木化
雪国ハ駒ふる蕨みず　草石

若葉薫風行

若竹やきよらの風の吹けるを　對山

さ月の松の緑の色遠く鳴く　狹齋

蜀き麦のもちひを作るこの夕べ　山

きぬぎぬにもれ出る音や蚊帳の内　齋

夕暮の雨あらはれの雨なり　山

そよぐ桐の葉茂む桐の葉　齋

百姓にあれいわるるの如きものみ　山

ものあるあるをひとり相ものむる　齋

さうさうと音信の酒を酒過し　山

あるあるにのひとり　庵　扶　齋

やもかみ繋元のうちに泣く　山

巣のたたぬを鶯みるれ　齋

松風や五月雨に布にこきあるる　山

玄猪や雪寄の月の月乃月　齋

あるべきを須加川薪をおいて
書にきこゆるしるしあるえの髮　齋
あるべき弁天堂の花のうれ　山
雲かりかりしかさしぬかきぬ　齋
十　於るさに二村山の鶯なき　仝
惠しよりと蔓藤のしるべ　山
かうばをとるきてはせはる　齋
加賀の國通るかり月まちなる　山

殿とかいふ教性母樣の本ゐ　齋
すういよ見る宮守の書　山
日のさすに苔絹はるとうつ　齋
たゝきを山なみの所　山
柱に於宗師の河岡梨まゐせ　齋
墨しあるゆゑをたゝ　山
ゆゑ毫ゝあるゝ文人雅乃身　齋
雄のあるゝのゆゑ月はの毫　山

ISSEIDO
東京 神田 一誠堂

ナウ
かさこの下に累れ植まき種の書　齋

ちるもはうるいろるや野寺　山

さつ蛙〳〵と鞠屋時を風の如く　齋

ゝ〳〵あゝ〳〵毋徒カ寺なる家　山

咲もの中乃深らかいつとしも　齋

ゝ〳〵のあるうすもゝ川ゝみ　山

暑日や松よはゝふゝ如く行　筆墨

後沼の松園　旭松

中巨摩郡清川村西之四近宅

長岡義作